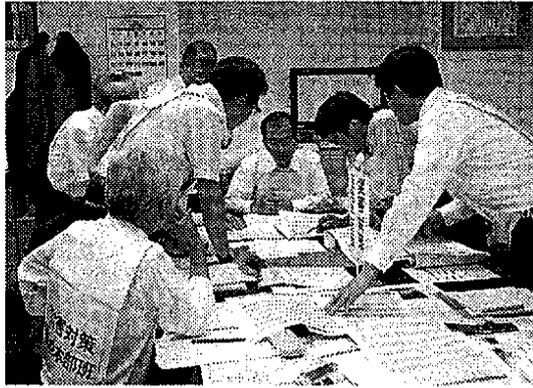


ロールプレイング方式で防災演習

本番さながらに訓練



建コン協近畿

建設コンサルタント協会近畿支部(松本正毅支部長)は9月29日、大阪市中央区の同支部で、ロールプレイング方式による防災演習を

行った。近畿支部独自の試みで、会員企業のほか近畿地方整備局からも参加。災害状況の確認や会員企業、自治体への連絡など、本番さながらの訓練に真剣に取り組んだ。

同日午前10時に滋賀県の琵琶湖西岸付近でマグニチュード7・2の「琵琶湖西岸内陸地震」が発生したという想定で、災害時協定を結んでいる近畿整備局からの要請を受け、午後1時に「災害対策現地本部」を設置。演習がスタートした。

演習には同支部の菅原武之総務部会長を始め、約40人が参加した。電話やファクスによる情報伝達の手順などを確認し、災害協定に基づく連絡体制が有効に機能することを確認した。